

この公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷して作成したものです。

「実現する政治。」

経済を立て直し、「新しい資本主義」で成長軌道にのせる。

●まずは、新型コロナウイルス感染症から命と暮らしを守る。

1. ワクチン接種を11月までに希望者すべてに完了。
2. 医療体制の確保とともに、自宅療養ゼロの岐阜モデルを全国に。
3. 生活と暮らしを守るため
 - ・生活支援、雇用調整助成金特例措置等の経済支援の継続。
 - ・影響を受けているあらゆる中小、小規模事業者への支援の徹底
 - ・地方臨時交付金等による地方の特性に合わせた支援の徹底。

●「新しい資本主義」で、分厚い中間層を再構築。

全世代安心感を日本の活力に！

コロナ禍で傷んだ日本経済を立て直すために、「金融緩和」「成長戦略」「機動的財政出動」を大胆に実行。コロナのピンチをチャンスに変え、あらゆる分野のデジタル化を加速させ社会の利便性を向上させる。

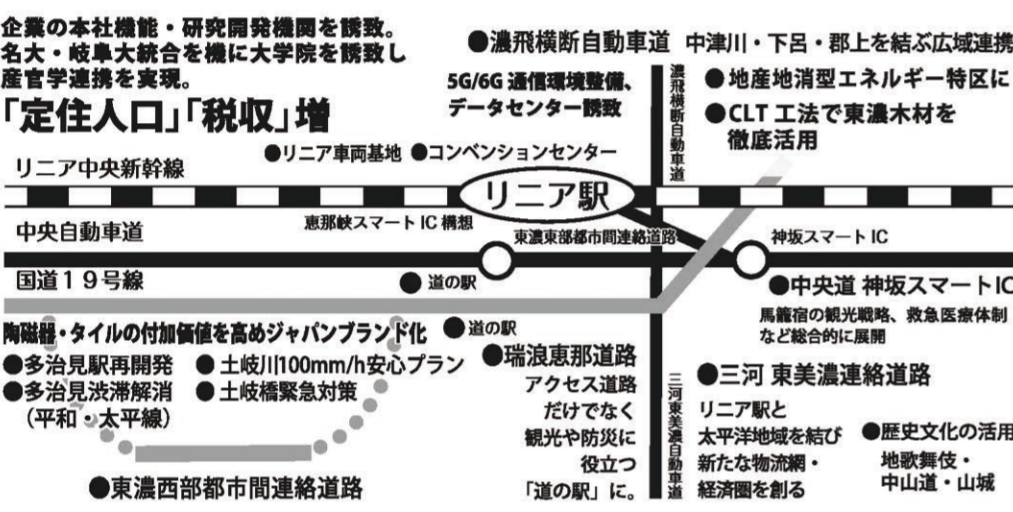
1. 分散型国づくりと地方へ「人・もの・仕事」の流れを徹底強化し、豊かな地方経済を創る。
2. 国土強靱化をはじめ、大胆な危機管理投資で安全で強靱な国を創る。
3. 毅然とした日本外交の展開と経済安全保障の強化で、日本を守る。

早急に30兆円規模の補正予算を編成へ。

●憲法～時代に合った憲法を！

国民主権・基本的人権の尊重・平和主義の3原則は堅持の上、皆さの幅広い理解を得て、今を生きる日本人と次世代への責任を果たす。

リニアを起爆剤に東濃の未来像を創る！



詳しい政策は、古屋圭司 HP、自民党 HP をご覧ください。

古屋圭司のfacebook <http://facebook.com/furuya-keiji>

古屋圭司のブログ <http://www.furuya-keiji.jp>

古屋圭司 Instagram

古屋圭司 LINE

古屋圭司 Twitter

古屋圭司 YouTube

www.furuya-keiji.jp 検索 古屋圭司

比例代表も 自民党へ



元国務大臣
党政調会長代行
岐阜五区
自民党公認

古屋圭司

68歳

小さな一歩が未来を変える

私たちの命を守り、暮らしを守る

非正規雇用の待遇改善、ワーキングプアをなくす

介護、看護、保育等のエッセンシャルワーカーの人材育成、労働環境と待遇の改善

安心して働き続けることのできる賃金を。同じ働きをしたら、同じ賃金(同一労働同一賃金)が払われるようなシステムを求めます。

賃金や勤務環境の改善、専門職として着実にキャリアアップできる仕組みの構築、復職支援の充実を求めます。

子どもは未来の「宝」 今、私たちができること

01 予算の確保(倍増へ！)

●ハコより中身、子ども子育て予算を大幅に増やします日本の家族関係係政府支出の対GDP比は、欧州諸国と比べると半分程度です

02 チルドレンファースト

- 子どもの権利を保障
 - ・子どもの命と安全が守られること
 - ・虐待や差別から守られること
 - ・居場所があり、学び・遊び・休む権利
 - ・子どもの意見表明する権利
- 子どもの権利利益を擁護するための独立機関や改革を推進する子ども省を設置

03 子どもから若者まで切れ目のない支援

- 産前・産後の支援の強化、安心して妊娠・出産・育児ができる制度作り
- 出産一時金を引き上げ、出産に関する費用を無償化
- 義務教育の学校給食の無償化
- 高校の授業料無償化の所得制限の撤廃
- 経済的な理由で進学を諦めない、給付型の奨学金制度(大学進学等)をつくる

04 児童手当・児童扶養手当の拡充

- 児童手当の所得制限撤廃と高校卒業年次まで対象を拡大
- コロナ禍の子育て世代のための特別給付金の再支給
- ふたり親低所得世帯も児童扶養手当の対象に

05 子どもの貧困

- 子どもの貧困率半減を10年間の目標に
- 生まれ育った環境に子どもの現在や将来が左右されないよう、あらゆる子どもの貧困対策を強化

“いつか誰かが何とかしてくれる”ではなく “私たちの手で未来をつくる!!”

今こそ! 新しい力を。

今井るのプロフィール

- 1996年(平成8年) 多治見市生まれ
- 2012年 中部大学春日丘中学校卒業
- 2019年 中央大学法学部政治学卒業
- 2009年 多治見市立昭和小学校卒業
- 2015年 中部大学春日丘高等学校卒業
- 2019年 民間企業 入社(東京)、企業の人材育成・社員研修に携わる

比例区も 立憲民主党 とお書きください



岐阜五区
立憲民主党
公認

今井るるる

25歳

政権交代で、政治を変えましょう

これまでの政府のコロナ対応は、①科学無視、②医療・公衆衛生切り捨て、③まともな補償なしで、反省もありません。

私はワクチン接種と一体の無料PCR検査、病床・保健所の予算二倍化、一人10万円の「暮らし応援給付金」を提案しています。

世代も業種もこえた格差と貧困が広がり、自己責任を押し付ける冷たい政治・自公政権に審判を下しましょう。政権交代を願うあなたの1票を、市民と野党の共同に誠実にとりこんできた日本共産党とおせき祥子にお寄せください。

新しい日本をつくるための四つのチェンジ

- ① 命と暮らしを大切にする政治
弱肉強食、自己責任押しつけの政治を終わりに
◆ 高齢者の医療費負担増を中止
◆ 非正規社員を正規社員に
◆ 税金の不正をただし、消費税を5%に減税
- ② 気候危機を打開する
CO2を最大60%削減
◆ 脱炭素、省エネ、再エネの促進
◆ 石炭火力・原発ゼロの実現
- ③ ジェンダー平等の日本を
男女の賃金格差をなくす
◆ 選択的夫婦別姓、同性婚を認める法改正を
◆ 性暴力の根絶 財界言いなりの働かせ方を改める
◆ 差別の価値観を根絶
- ④ 憲法を生かす
アメリカいなりから抜け出す
◆ 辺野古新基地建設は中止
◆ 核兵器禁止条約に署名・批准する政府をつくる
◆ 憲法9条を生かした平和外交を

自公と補完勢力の冷たい政治をやめて、
政権交代へ

日本共産党を伸ばしてください

おせき Twitter [党 Home page](#)

比例代表の投票は **日本共産党**へ
政党名でお書きください



おせき祥子

1953年生まれ 68歳

- 県立土岐商業高校卒業
- 元土岐市議 7期
- 党東濃西地区委員長

日本維新の会 公認

めざせ!!
司法移転

東濃に最高裁を誘致しよう!

◆東京一極集中の是正は急務

東京の人口が増え続けている一方で、地方の人口は減り、地方の衰退に歯止めが掛かりません。また、先の首都圏を襲った地震のように、東京の地震に対するもろさが露呈しました。今後もっと大きな地震や災害が襲った時、首都は、日本は大丈夫か、という不安が募ります。

◆首都機能の分散は、待たなし

首都機能分散は、平成2年に衆参両院が「国会決議」までした国民的合意事項です。またその移転候補地としてこの岐阜県東濃地域が全国の中から選ばれました。しかし、具体的な動きがないまま今日まで来てしまっています。その間に大きな地震やコロナが日本を襲ったにもかかわらずです。これは政治の怠慢と言われても仕方ありません。(※衆参両院の「国会決議」は強制力を持ちます)

◆司法(最高裁)の移転

第一歩として、司法の移転にターゲットを絞って展開するべきと考えます。何故なら司法には「司法権の独立」という大原則があり、東京にある必要は全くない、むしろ地方にあった方が本来の働きができると言えるからです。首都機能移転を実現するには最も易く、効果が高いのが司法です。

◆女王蜂理論

「女王蜂が動くと働き蜂が動く」最高裁が動けば、法律に関する様々な機関が拠点を岐阜県へと移すことになり、岐阜県は我が国における法律の中心地域となります。これは、地元発展にも国の危機管理や地方分権にも資する政策は他にはありません。今が絶好の、そして最後のチャンスです。絶対に実現させましょう!

経歴 | ●早稲田大学社会科学部卒業 ●早稲田大学大学院政治学専攻科中退
●早稲田大学雄弁会 ●下呂市長(初代) ●衆議院議員(1期)



日本維新の会

山田良司

りょうじ